

やっぱり節句祭りの見所は
豪華絢爛な屋台！

祭りの花形・屋台は一級の芸術品

豪華絢爛『化粧屋台の華やかさ』

北条節句祭りで神様を運ぶ『神輿』の後に続く各町の『化粧屋台』は、東郷8台、西郷7台の合計15台です。様々な趣向を凝らした化粧屋台は、金銀華麗な鷲・海老・獅子などの彫金技術、純白や黄金色の伊達網、狭間の彫刻一つ一つが一級の芸術品で飾られています。

その美しい装飾工芸が春の光に輝き、勢ぞろいしたその姿の見事さが、節句祭りの華やかさを最高に演出し、祭りを盛り上げます。

節句祭りのHPを要Check!!

北条節句祭りのHPで詳しく各町の屋台の紹介を掲載しているので、ぜひチェックしてください。

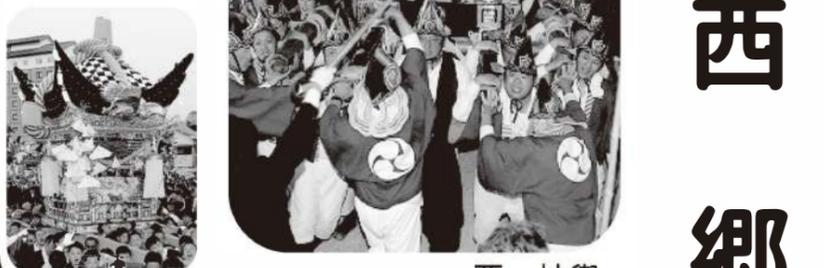
<http://www001.upp.so-net.ne.jp/sumiyoshi/sekku/>



谷 小谷 笠屋 西上野



市村 宮前



黒駒 西・神輿

西郷

住吉神社



北条節句祭りガイド



MATSURI INFORMATION GUIDE



節句祭りの神事

『鶏合わせ』

平安時代より約900年の伝統を受け継ぐ鶏合わせ神事は、節句祭りの最終を飾って奉納されます。毛槍で矢来が組まれた境内中央の勅使塚上で、東西両郷から古式ゆかしい装束に身を固めた執行者が霊鳥とされる鶏を高く差し上げ、二度見合わせます。

争いを避け、この一年の協力と平和を誓いあう意味をこめた、全国でも珍しい神事とされています。



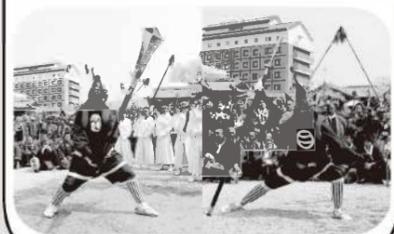
『浦安の舞』

1940年の『皇紀二千六百年』を奉祝して国の繁栄、皇室の弥栄、人々の安寧を祈願して全国の神社で始められました。女性が神社に奉仕する唯一の行事です。小学校6年生と中学校1年生の愛らしい舞姫(巫女)たちが、雅楽の演奏により舞を神前に奉納し、一年の無事を祈ります。宵宮、本宮あわせて4回舞います。



『龍王舞』

『りょうおうのまい』や『りゅうおうのまい』などと呼ばれ、その起源は定かではありませんが、東郷と西郷の2種類の龍王舞が存在します。一般的に、天孫降臨の道案内をつとめた猿田彦の故事にならない、赤い天狗面に飾り兜にて舞うとされています。舞の前半は道案内の部分にあたり、鉾を用いて外敵を打ち払う動作や人々の罪穢を祓い清め、後半は、素手で舞い、その幸せや喜びの心を表現する仕草ともいわれています。



創建1300年の住吉神社！
どんなことをするの!?

歴史と伝統の住吉神社で

平安時代から続く歴史とこれから

住吉神社は717年に創建されました。古くは『酒見大明神』と称され、731年に記された『住吉大社神代記』には全国に住吉神をお祀りする9社の1社として『住吉酒見社』の名で記載されています。その後明治時代に入ってから『住吉神社』に改められました。

古くは播磨国三宮として崇敬をあつめ、明治時代には県社にも列せられました。社殿は、度重なる兵火で荒廃しましたが、1600年に姫路城主の池田輝政の支援により復興され、現在の本殿は、江戸時代末期の嘉永年間に再建されたものです。

住吉神社は兵庫県の文化財に指定され拝殿などの大改修を行いました。

『峯相記』に『保安3年(1122年)3月3日鶏合せ始む。』との記載があり、以来連綿と続く北条節句祭りは、令和4年に900年を迎えます。

●屋台写真配置は順不同です。

東郷



西高室 古坂 御旅町 栗田



南町 本町



東・神輿 横尾 東高室

加西市観光案内所

北条鉄道 北条町駅内
☎0790-42-8823

北条地区ふるさと創造会議
北条節句祭り連絡会

加西市北条町北条1318 住吉神社 社務所内
☎0790-42-0423

令和を祝う節句祭り

